

# 医療系学部初年次多職種連携実習における地域公共 図書館との連携

柿崎真沙子<sup>1)</sup>、田中里枝子<sup>2)</sup>、福田光輝<sup>2)</sup>、和田彩子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 名古屋市立大学、<sup>2)</sup> 名古屋市鶴舞中央図書館

## 【医療系 3 学部連携地域参加型学習】

名古屋市立大学では、医学部医学科、薬学部薬学科、看護学部看護学科の医療系 3 学科の 1 年生を対象に学部を横断して 9 人前後 27 グループに編成した地域参加型学習を実施している。この実習科目は医療系 3 学部の必修科目となっており、前期期間に基本的な医療技能に関する講義および実習、早期臨床体験を、後期期間にグループ学習を行っている。グループ学習では 27 の地域・機関にご協力いただき、その地域・機関におけるニーズや課題を発掘し、それらを解決していくグループ学習を実施している。本報告では、2021 年より連携を開始した、全国的にも珍しい公共図書館との事例について報告する。

## 【名古屋市鶴舞中央図書館】

2021 年度より連携を開始した鶴舞中央図書館は、市内に 21 館ある市立図書館の中で最大の蔵書を持つ。実用書、児童図書、CD、ビデオなどの視聴覚資料、地域に関する資料の他、診断ガイドラインなど健康・医療系の蔵書も豊富に有している。また、視覚障害者向けの資料を提供する点字文庫をもち、調査・研究に対応したレファレンス・サービスにも重点を置くなど、様々な取り組みを行っている公共図書館である。

## 【鶴舞中央図書館でのグループ活動】

学生は 2021 年 6 月に、図書館を訪問し、施設見学および職員への聞き取りを行った。その後学生同士で議論し、どのような取り組みができるか検討した。最終的に、グループの学生が 1 人 1 冊ずつ、小学生、中高生、大学生以上のそれぞれの年代に薦める健康・医療系図書を紹介する展示コーナーを企画・展示するという取り組みを行った。各学生は 1 人 3 冊推薦図書を選出し、その中から重複を除外し、1 人 1 冊計 9 冊の推薦図書を挙げた。その後、画用紙やカラーペン、折り紙などを利用し、自分の推薦する図書の紹介をするポップを作成し、それらと実際の図書資料を組み合わせた展示コーナーを、2021 年 12 月 11 日から 28 日の間展示した。

## 【結び】

本事例は、本学における医療系実習での初の公共図書館との連携あり、過去の活動事例を参考にすることも難しかったが、利用者アンケートや学生の実習後評価では概ね好評であった。公共図書館は、開かれた地域施設であり、医療・健康情報も多く保有することから、医療系学部教育との連携は大変重要であると考えており、今後も様々な場面で連携を進めていきたい。